

索道事業安全報告書（2010年度）

竜王スキーパーク

RYUO
SKI PARK

- 竜王第 1 クウッドリフト
- 竜王第 2 ペアリフトA線
- 竜王第 3 ペアリフトA・B線
- 竜王第 4 ペアリフトA・B線
- 竜王第 5 リフト
- 竜王第 8 リフト
- 竜王第 9 ペアリフト
- 竜王第10ペアリフト
- 山頂第 1 クウッドリフト
- 山頂第 2 ペアリフト
- 山頂第 3 ペアリフト
- 竜王ロープウェイ（Vessel）

株式会社 北志賀竜王



竜王スキーパークご利用の皆様へ

いつも竜王スキーパークをご利用いただき誠にありがとうございます。また、当スキー場索道事業に対して、ご理解いただきまして、誠にありがとうございます。

当社はスキー場、利用者、そして地域社会のすべてがハッピーとなるようなスキー場運営を行なっております。その上で、スキー場の運営に関するあらゆる問題を解決し、非日常的な時間と空間を演出することにより、一人でも多くの方に自然の素晴らしさ、ウィンタースポーツの楽しさを味わって頂くことを最大の使命としています。これらのすべてにおいてその基礎は『安全確保』がキーワードとなっております。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための当スキー場の取り組みや安全の実態について、当スキー場をご利用の皆様や近隣の皆様にご理解いただくために作成いたしました。皆様からのご意見を当スキー場索道事業の安全輸送に役立てたく、頂戴できれば幸いです。



株式会社 北志賀竜王
竜王スキーパーク
代表取締役社長 雪本智史



安全基本方針と安全目標



安全基本方針

当社の企業理念として、人命を尊重し、安全と健康を重視することを掲げております。

さらに当スキー場の経営理念の第一は安全確保にしております。当社役員は安全第一の意識をもって索道事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するため『安全基本方針』を次のように掲げております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

安全目標（2010年度）

当社では全社一丸となった安全管理体制の強化を推進しています。今年度、索道輸送事故は0件でしたが、今後においても全社一丸となった安全最優先の意識の高揚を図って参ります。

また、過去に発生した事故のみではなく、危険の予知・予測、事故には至らなかった事例を漏れなく収集し、他の事故情報と比較して対策を講じる体制を整備いたします。

索道輸送安全目標（2010年度）

- 目標1 : 人身障害事故発生0件
- 目標2 : 索道保安設備から起因する事故0件
- 目標3 : 索道スタッフの不安全行動から起因する事故0件

事故等の発生状況と運休状況

索道輸送事故 0件

インシデント 0件

今後も細心の注意を払い、安全運行を推進しますが、異常時の点検のため運行を一時見合わせる場合がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

索道輸送の安全確保に関する当スキー場の取組み

索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し新人研修およびシーズン開始時に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。研修は経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分けて実施し、研修は安全運行マニュアルの修得及び救助訓練に加え、サービス研修や様々な事故事例をもとにした、トラブル対応などを含めた内容にて実施しています。また、シーズン中に定期的なミーティングを行い、安全とサービスについて意見交換ができる場を設けています。

お客様の安全対策

場内注意喚起掲示板の設置数を増加しています。

緊急時の対応訓練

索道運行停止時の救助訓練を実施しています。

緊急時に連携をとる救急施設

山ノ内町消防署
北信総合病院



索道保安設備の維持管理・改修

整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。

今年度の各リフトは主に以下の整備を実施しました。

竜王第 1 クワッドリフト	自動循環押送チェーン交換・握索機オーバーホール
竜王第 2 ペアリフトA線	索受・索輪交換
竜王第 3 ペアリフトA・B線	油圧緊張シリンダーオーバーホール
竜王第 4 ペアリフトA・B線	握索部品交換
竜王第 5 リフト	索受・索輪交換
竜王第 8 リフト	原動機オーバーホール
竜王第 9 ペアリフト	原動機オーバーホール
竜王第10ペアリフト	油圧緊張ユニット交換
山頂第 1 クワッドリフト	握索機オーバーホール
山頂第 2 ペアリフト	索受・索輪交換
山頂第 3 ペアリフト	索条交換・油圧緊張ユニット交換
竜王ロープウェイ (Vessel)	滑車ゴムライナー交換・索輪交換・原動機オーバーホール

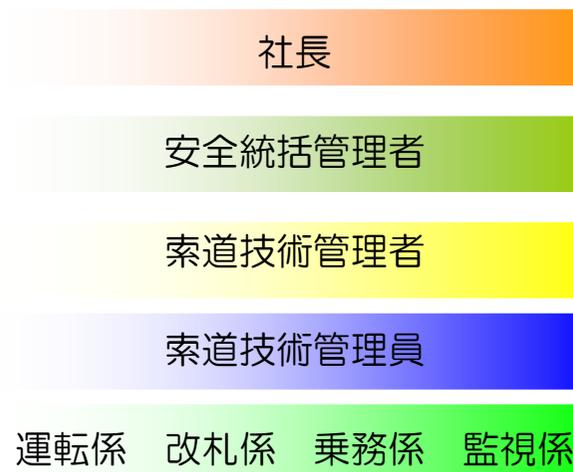
また、中長期整備計画を策定し、索道設備の永続的な維持管理に努めています。



当スキー場の安全管理体制



社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確なものとしています。



- | | |
|---------|--|
| 社長 | 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。 |
| 安全統括管理者 | 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。 |
| 索道技術管理員 | 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行なう業務を補助する。 |

役員による場内巡回

役員が定期的に当スキー場を巡視して、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントのPDCAサイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っております。

利用者の皆様の連携とお願い



(1) お客様の声をかたちにしています

場内3ヶ所にお客様の声を聞かせただけのご意見箱を設置し、安全やサービスレベルの向上の参考とさせていただきます。ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。また、当スキー場ホームページでもお待ちしております。

(2) グレンデ内の注意事項とお願い

スキー・スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、また自然災害に巻き込まれないよう十分注意して滑走して下さい。当スキー場では、事故をなくすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何よりもまずスキーヤー・スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないで下さい。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意願います。
2. 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輦など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従って下さい。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

(3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいますようお願い申し上げます。

ご連絡先



本報告書へのご感想、当スキー場への安全に関する取組みに対するご意見をお待ちしております。

〒381-0405

長野県下高井郡山ノ内町竜王高原

竜王スキーパーク

索道お客様係

Tel 0269-33-7131 Fax 0269-33-6231

E-mail info@ryuoo.com